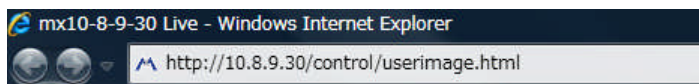


MOBOTIX FTP の設定方法

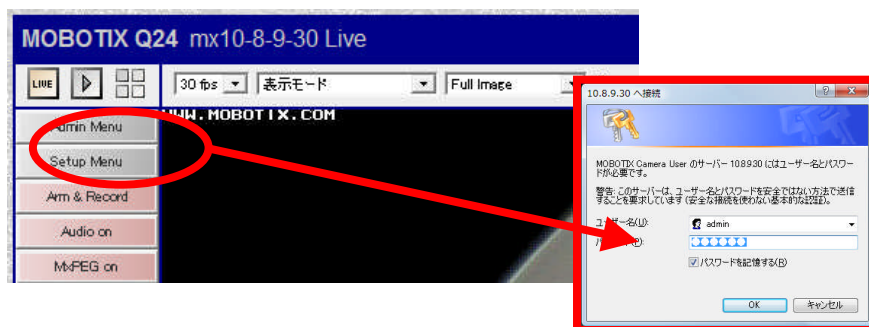
1. ブラウザから設定したいカメラにアクセスします。



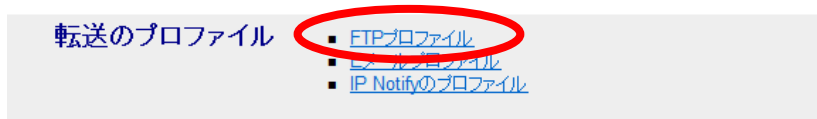
2. カメラの「Admin Menu」をクリックして、ユーザ名とパスワードを入力します。

初期ユーザ名 : admin

初期パスワード : meinsm



3. ページ中部の「転送のプロファイル」から「FTP プロファイル」をクリックします。



4. ページ右下に「一部」のボタンがあることを確認します。「全体」の場合は、クリックして画面表示を全体に切り替えます。

5. カメラが使用する FTP サーバの情報を入力します。この部分に関しては、必ず FTP サーバ管理者に必要情報を予め確認を取っておきます。

FTP サーバ: FTP サーバの IP アドレスを入力します。もし、ローカルネットワーク外のメールサーバを使用する場合やドメイン名でサーバ指定をおこなう場合は、必ずカメラのデフォルトゲートウェイと DNS サーバの確認をしてください。

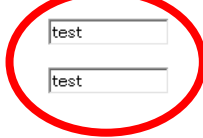
(Admin Menu → イーサネットインタフェース → ルーティング/ドメインネームサービス)

グローバルオプション	値	説明
サーバ設定	10.0.0.68	FTPサーバ。 デフォルトFTPサーバの名前またはIPアドレスです。 デフォルトポートは21です。違うポートを使用する場合は、名前がIPアドレスの後にコロンで区切って番号を入力します。

*FTP 送信に関して、21 番ポートを使用しない場合は、コロンで区切ってポート番号を

入力します。

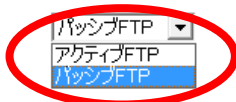
ユーザ名/パスワード：FTP サーバにアクセスするためのユーザ名とパスワードを入力します



ユーザ名:
認証用ユーザ名のデフォルトです。


パスワード:
認証用デフォルトパスワードです。

接続：FTP の接続タイプを選択します。



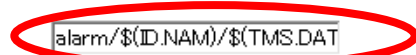
接続:
デフォルトFTP接続タイプです。パッシブFTPの場合、カメラはパッシブモードでFTPサーバに接続します。カメラがファイヤウォールやルータの後に置かれている場合に推奨する方法です。FTPサーバに接続できない場合、アクティブFTPを試してください。

- 次に送信したい相手の設定を行います。はじめにプロファイル名を入力します。後ほど、**SetupMenu** のメッセージ送信でイベントと関連付けを行うために使用するプロファイル名です。*必ず英数字で入力してください。

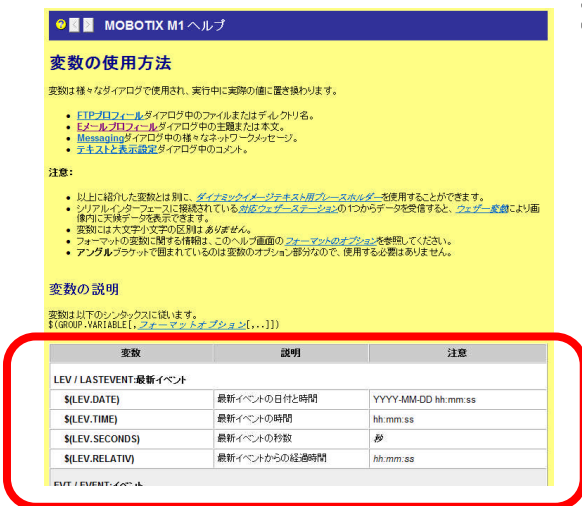


- 続いて画像を保存するディレクトリを入力します。

こちらのメッセージにはカメラの変数を使用して、カメラ情報を入力することが可能です。変数は、右の**変数**のリンクをクリックしてヘルプページを参照してください。また、変数はディレクトリ名以外にもファイル名にも使用することが可能です。



ディレクトリ名:
画像を格納するコンピュータの転送先ディレクトリです。FTPサーバ側で受けられる名前を使用します。必要に応じてディレクトリが作成されます。デフォルトディレクトリには `$(TEXT.FTPDIR)` を使用します。このパラメータでは**変数**を使用できます。



変数の使用方法

変数は様々なダイアログで使用され、実行中に実際の値に置き換わります。

- EIPプロファイルダイアログ中のファイルまたはディレクトリ名。
- モジュールプロファイルダイアログ中の主題または本文。
- Messageダイアログ中の様々なネットワークメッセージ。
- テキストと表示設定ダイアログ中のコメント。

注意:

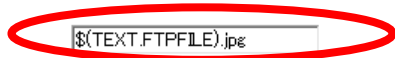
- 以上で紹介した変数とは別に、[ダイナミックインターフェイス拡張フレームワーク](#)を使用することができます。
- シリアルインターフェースに接続されている**外部カメラステーション**の1つからデータを受信すると、**カメラ変数**により画面内に実時データを表示できます。
- 変数には大文字小文字の区別は**ありません**。
- フォーマットの変数に関する情報は、このヘルプ画面の**フォーマットのオプション**を参照してください。
- アンダースコアで囲まれているのは変数のオプション部分なので、使用する必要はありません。

変数の説明

変数は以下のシンタックスに従います。
`$(GROUP.VARIABLE[, フォーマットオプション[,...]])`

変数	説明	注意
LEV / LASTEVENT:最新イベント		
\$(LEV.DATE)	最新イベントの日付と時間	YYYY-MM-DD hh:mm:ss
\$(LEV.TIME)	最新イベントの時間	hh:mm:ss
\$(LEV.SECONDS)	最新イベントの秒数	#
\$(LEV.RELATIV)	最新イベントからの経過時間	hh:mm:ss
EVENT:イベント		

8. **ファイル名:**保存されるファイル名を入力します。ファイル名にも変数を使用することが可能です。



ファイル名:
コンピュータ上の画像の転送先ファイル名です。FTPサーバ側で受けられる名前を使用します。ファイル拡張子を忘れないこと(画像の場合、'.jpg')!
デフォルトファイル名は\$(TEXT.FTPFILE).jpgを使用します。
このパラメータでは**変数**を使用できます。

9. **ファイル形式**では、**FTP** で送信する内容を選択します。

画像プロファイルからの画像: ライブ/イベント画像を送信

画像プロファイル: 予め画像プロファイルにて作成した画像で送信します。

これにより、ライブ画像は **Mega** サイズなどでも、Eメールの_attachments に関しては **CIF** サイズなど小さな画像でも送信することが可能です。



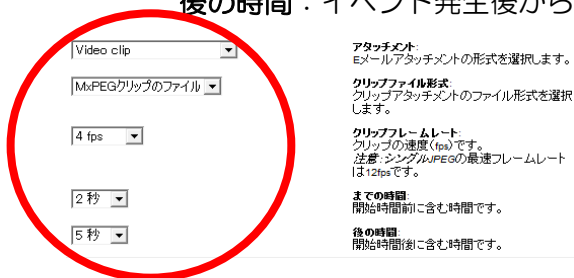
Video clip: 動画を送信

クリップファイル形式: クリップにしてまとめるファイル形式を「**MxPEG** クリップ」か「**Single JPEG**」から選択します。

クリップフレームレート: フレーム数を設定します。

までの時間: イベント発生前に遡って撮影する時間を設定します。

後の時間: イベント発生後から撮影する時間を設定します。



システムメッセージ: カメラのシステムメッセージを添付

システムメッセージの範囲: システムメッセージの範囲を時間で指定します。



Web Server Log:カメラ Web サーバのログファイルを添付

Text Message : テキスト文を送信

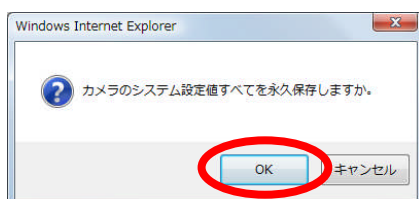
10. ファイルオプションの使用の可否を選択し、使用可にした場合はファイル名にテンポラリファイル名が使用できます。

11. イベントディレクトリの使用の可否を選択します。使用可にした場合、各イベント毎に新しいサブディレクトリが作成されます。

12. サーバ設定(オプション)では、各プロファイルで別々のサーバ情報を入力したい場合は、それぞれ入力します。空白にした場合、「5」で設定したサーバ情報で送信します。

13. **設定** をクリックして、画面がぱっと切り替わったら **閉じる** をクリックして、ポップアップページの「OK」でフラッシュメモリに保存します。

*以後、一つの設定項目で設定変更が終了した場合、必ずこの動作を行います。



14. 再度カメラの「Admin Menu」をクリックして、ページ上部の「ネットワーク設定」から「ネットワーク設定のチェック」をクリックし送信テストを行います。

*ネットワーク設定のチェックのページでは、必ずポップアップブロックの設定は解除します。

ネットワーク設定

- 簡易設定
- **ネットワーク設定のチェック**
- 工場ネットワークカメラ (エキスパート用)

15. 画像転送の中から設定した FTP プロファイルのプロファイル名(設定例:test)を見つけ、その右隣にある **転送** をクリックしてテストを行います。

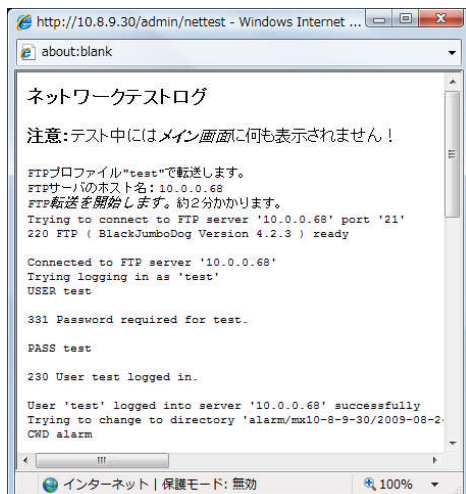
画像転送	システム設定	テスト	結果
FTPプロファイル 'test'	ホスト: 10.0.0.68 ユーザ名: test パスワード: test パス: alarm/mx10-8-9-30/2009-08-24/m090824184229069.jpg	転送	テストしていません。

16. 通信テストを行い、成功すると **転送** の右隣に緑の文字でステータスが記載されます。「例: **173kbytes written in 0 secs/transferrate is :173kByte/s(1File)**」

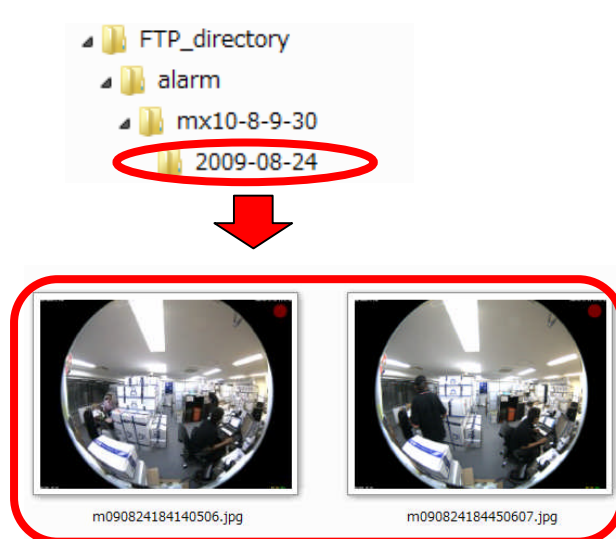
もし、赤字でエラーが表示されメールが届かない場合等は、ポップアップページのカメラ通信ログや FTP サーバログを、FTP サーバ管理者と確認してください。

FTPプロファイル 'test'	ホスト: 10.0.0.68 ユーザ名: test パスワード: test パス: alarm/mx10-8-9-30/2009-08-24/m090824184450854.jpg	転送	173 kBytes written in 0 secs / transferrate is: 173 KByte/s (1 file)
---------------------	--	-----------	---

ネットワーク通信ログ



FTP 画面

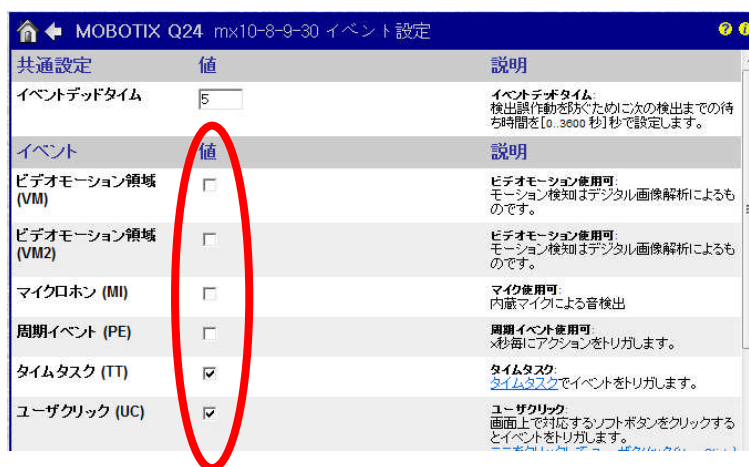


17. 次に **Setup Menu** を開き、イベントと関連付けを行います。

まず、**Setup Menu** の「イベント共通設定」を開き、動作待機が「使用可」に設定します。



18. 次に **SetupMenu** の「イベント設定」で、メール送信したいカメラのイベントを設定します。



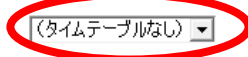
19. 最後に **Setup Menu** の「アクション」もしくは「メッセージ送信 2」を開き、イベントと **FTP** プロファイルの関連付けを行います。

アクションプロファイル：使用可に設定します。



アクションプロファイルを使用可にします。
次のアクションプロファイルを制御します:
使用可: プロファイルを起動します。
オフ: プロファイルを停止します。
SC: 動作待機は信号入力により制御されます。
CS: イベント共通設定で定義されているにカスタム信号によりアクションは動作待機されます。
マスターから: マスターカメラからアクション動作待機状態をコピーします。

タイムテーブル：FTP 送信する時間を制御します。応用マニュアル「タイムテーブル」をご参考ください。



Time Table Profile:
このメッセージプロファイルのタイムテーブルです。(タイムテーブル)

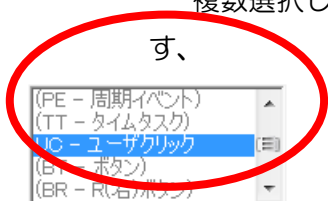
アクションデッドタイム：一度目の送信からデッドタイムを設け、連続する無用な FTP 送信を防ぎます。



アクションデッドタイム:
新しいアクションを実行するまでのアクション
タイムアウト[0..3600 秒]です。

イベント選択：FTP 送信したいイベントを選択します。グレイアウトしているイベントは有効になっていません。イベント設定で有効にしてから選択してください。

複数選択したい場合は、「Ctrl」キーを押しながら、左クリックをします、



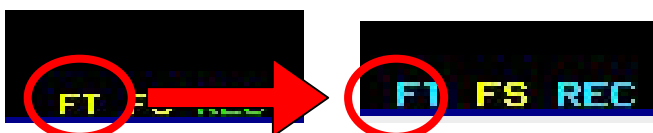
イベントの選択:
以下のアクションをトリガするイベントを選択してください。
つ以上のイベントを選択するには[ctrl]キーを押しながらクリックします。
ブラケットで囲まれたイベントをまず起動する必要があります。
フィルタイベント用のECまたはEL。

20. アクションのファイル転送アクション(FT)で FTP プロファイルで設定したプロファイルを選択して設定します。



FTPプロファイル:
ファイル転送プロトコルを使用してリモートホストに画像を送ります。(FTPプロファイル)

21. 画像内右下に「FT」のシンボルが追加にされたことを確認します。最後に選択したイベントが発生すると、「FT」のシンボルが水色に変化することを確認します。



FTP サーバ内のディレクトリできちんと FTP 送信があったことを確認し設定終了です。

